

特集 あんくるバスの車窓から

季節の花が咲き誇る
デンパーク



季節のビールが楽しみ

佐々木公磨さん・典子さん(岡崎市)
デンパークには普段、車で来ますが、季節のビールを飲むため、バスでやってきました。



デンパークで人気の地ビール

デンパーク

和泉丈山苑

本郷

東端

バスはお年寄りや障害のある人にも優しい、低床・ノーステップ(段差なし)。車いす用のスペースも確保しています。

人に優しい低床バス

バス停の看板はJR安城駅前デッキにある天球儀をデザインしたものです。

南部線沿線の魅力

～田園風景と文化を感じる～

レンタサイクルで田園風景を楽しむ

デンパークにある無料のレンタサイクルを利用すれば、さらに行動範囲が広がります。安城らしい風景を自転車に乗って満喫してみたいはいかがでしょうか。



＊デンパークレンタサイクル＊
貸出時間▷午前9時30分～午後4時30分
貸出場所▷正面ゲート前
＊火曜日定休(祝日の場合は翌日)

自転車で少し走れば、半場川沿いの田園風景を満喫できる。

デンパークへの車内はバス遠足気分！

デンパークへ向かう親子3人

今日は、お父さんがお仕事だから、お母さんと僕たちでデンパークへ。バスで行くのを楽しみにしてたよ。



休日の車内はデンパークへ向かう人が多い

看板を頼りにぶらりと散歩へ



丈山苑では抹茶をいただきながら庭を眺めて、ほっと一息



丈山文庫で石川丈山の世界と思考に触れる

途中下車して自然と文化を感じる

沿線の和泉町は郷土の偉人、石川丈山と都築弥厚のふるさと。丈山苑や丈山文庫など歴史探訪ができます。

城ヶ入町の本郷で下車し、徒歩数分のところにある城ヶ入子安観音の参道には立派な藤棚が。春には見事な藤が咲き誇ります。



城ヶ入子安観音

携帯電話で
あんくるバス時刻表を入手

インターネットに対応している携帯電話からバスの時刻表が入手できます。

情報の入手方法(例)

マバーコード読み取り

バーコード読み取り機能を搭載している携帯電話で右のバーコードを読み取ると、自動的にアドレスが表示され、安城市携帯望遠郷サイト「あんくるバス時刻表」を見ることができます。

マこのほか「あんくるバス」と検索する方法などがあります。



※市役所と各地区公民館で時刻表を配布、また点字時刻表も市役所商工課で配布しています。市ホームページからも入手できますのでご利用ください。

あんくるバス基本データ

- ① 1 乗車100円(未就学児童は無料)
- ② 家族 1 か月定期1000円(同時に 2 人まで乗車できます)
※記名式。車内で販売しています。
- ③ 年未年始(12月29日～1月3日)以外は毎日運行
- ④ 始発はすべて午前7時30分、夕方までに 6 ～ 8 便を運行
- ⑤ 全 7 路線

路線名	運行距離数	所要時間	一日の便数	1 便当たり 利用人数
市街地線	21.0km	68分	8 便	15.5人
桜井線	24.0km	85分	6 便	24.7人
南部線	31.5km	98分	6 便	21.5人
高棚線	30.2km	95分	6 便	15.1人
東部線	32.2km	95分	6 便	19.9人
西部線	30.2km	95分	6 便	19.8人
北部線	20.1km	76分	7 便	8.8人
合計	189.2km		45便	125.3人



あんくるバスは今日も走り続けます

取材を終えて

わたし自身、あんくるバスに乗車したのはこれまでに1回。普段はどうしても自分の車を使ってしまう。バスを使わない(使えない?)理由、その1＝便数が限られている、その2＝目的地までに時間がかかりそう、その3＝夜遅くまでの便がない。そして最大の理由はマイカーが使えるから。市民の皆さんからも、「もっと便利に」とのご要望が寄せられています。ただ、便利さを追求すれば、より多くの経費がかかります。これ以上、バスを増やすことは難

しいようです。

取材を通してわかったのは、車に乗れない学生、自転車にも乗れないお年寄りにとって、バスは毎日の生活に欠かせない存在となっていることでした。そしてバスを降りる人々が運転手さんに「ありがとう」という姿が印象的でした。

今度、わが子とデンパークへ遊びに行くときは、のんびりとあんくるバスに乗ろう。乗り物好きのわが子は喜ぶだろうし、わたしはおいしい地ビールも飲めるし。(K)



通勤、通学時間帯のJR安城駅前



市民の医療拠点、安城更生病院

バスはわたしの足。

田川フジノさん(76歳、城ヶ入町)

通院のために利用しています。自転車に乗ることができないので、バスは「わたしの足」。あんくるバスのスタートの日からお世話になっていますよ。

市の交通と医療の拠点であるJR安城駅と安城更生病院には、北部線を除く6路線が乗り入れています。

南部線利用者の声



1か月1000円は助かります。

木島キヌヨさん(70歳、桜町)

和泉町の娘宅にいる犬の散歩のために10年以上、ほとんど毎日通っています。あんくるバスの開通前は、バスで1日往復700円以上でしたが、今は1か月1000円で助かります。

通学で毎日利用。楽だし便利ですよ。

安城高校の学生さん

殿町(東端町)から乗車しました。学校までは自転車でもバスでも約30分かかりますが、楽だし便利だから毎日利用しています。

ダイヤどおりの運行に苦労

一番の苦労はダイヤどおり運転することです。特に夕方や雨の日は渋滞に巻き込まれやすく、定刻から10分ほど遅れてしまうこともあります。ご乗車されたお客さまから「なんで時間どおりに来ないのか」とおしかりを受けることも。そんな時「渋滞で遅れてしまったから仕方ないよ」と“助け船”を出してくださった常連のお客さまがいて助かりました(笑)。



南部線など3路線に乗務
運転手 内藤靖弘さん